



第 17 号

平成 25 年 10 月 31 日 発行

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町 13-71
TEL 078-925-0860 FAX 078-925-0878

デザイン・印刷 株式会社 サラト
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町 172
tel 079-284-1380 <http://www.salat.co.jp/>

けやき会とは：兵庫県立看護大学卒業生・兵庫県立看護大学大学院修了生・兵庫県立大学看護学部卒業生・兵庫県立大学大学院看護学研究科修了生、在学生、特別会員(旧現教員)を会員とし構成されている同窓会です。

けやき会HPリニューアルオープンお知らせ

けやき会HPをリニューアルオープンしています。

URL:<http://www.keyaki-kai.com/> E-mail:info2@keyaki-kai.com

内容の充実、管理情報の一元化とセキュリティの強化、電子媒体の利用によるコスト削減などを目的に、名簿管理や会報発行でお世話になっている株式会社サラトにHP開設を委託しました。コンテンツも充実しておりますので、ぜひご覧ください。



20周年を迎えました

けやき会 会長 芝田 健輔



今年の夏は、記録的な猛暑と豪雨に見舞われました。少しずつ過ごしやすい季節を感じるようになったこの頃、会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

すでにご存知かもしれませんが、来年には兵庫県立大学が創立10周年を迎えるとしています。私用があり、真夏の暑い日に明石看護キャンパスを訪れた時のことです。さんさんと照りつける太陽のもと、けやき並木の緑色に映えるように青色の創立10周年PRのぼりが飾られていたのが印象的でした。一方、兵庫県立看護大学・兵庫県立大学看護学部は平成25年に開学20周年という大きな節目を迎えました。5月には開学20周年記念式典を開催することができ、県知事や学長をはじめ県立病院の関係者の皆様に出席していただきました。20周年記念式典では、南先生や卒業生の先輩、後輩の方々に「私と大学」と題し様々な講演をしていただき、この大学と卒業生、先生方のつながりを感じました。また、講演会の後には、授業を受けた懐かしい教室で、年度ごとの卒業生が集まるプチ同窓会・交流会が開催され、久しぶりの友人に出会うことができました。参加された方のなかには、その後にゆっくりと食事

などされた方もいるのではないのでしょうか。

20年、人の人生に例えると、ちょうど20歳で成人にあたります。やっと一人前として認められる時期でもあります。まだまだ未熟な時期でもあります。私は自分が学生だった時には自分にとって大学の存在について深く考えたことはありませんでした。しかし、この機会に、私にとっての大学の存在を考えると、自分たちを育ててくれた親のような存在かなと思いました。しかし、学生であった私たち卒業生も20年という歴史のなかで、一人ひとり何らかの足跡を残し、大学の文化や風土を育ててきたからこそ20年という歴史を刻んでこられたように思います。そう思えた時、大学は自分の子どものような存在かもしれないとも思いました。

この会報を手にとられているのは、卒業生の皆様です。皆様にとって兵庫県立大学看護学部及び兵庫県立看護大学とはどのような存在でしょうか。卒業されてから様々な生活を送られていると思いますが、私がいつも思うのは、この会報を読まれた時に一年に一度でも大学のことを思い出してもらえたらなということです。さらには何らかの形で、大学との関係が深まってもらえれば幸いです。ちょうど親子の絆のように。

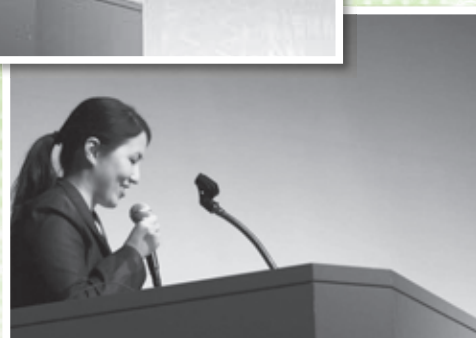
開学20周年記念

▼ 講演会



▲ 式典

▼ 学部歌斉唱



兵庫県立看護大学・兵庫県立大学看護学部 開学20周年記念事業

看護生体機能学 森 舞子(兵庫県立大学看護学部 1期生)

5月26日日曜日、立派な五月晴れの空の下、兵庫県立看護大学・兵庫県立大学看護学部開学20周年を記念し、記念式典・記念講演会・交流会が行われました。大学キャンパス内では現役学部生が樺まつりを盛り上げて下さっている中、また地域発＜王子太鼓＞のリズムに心躍る中、開学当初より大学を愛して下さってきた多くの先生方、また関係者の皆様が続々と明石看護キャンパスに到着され、否が応にもお祝いムードは高まっていくのでした。お昼も過ぎ、爽やかな日差しを浴びながら地域ケア開発研究所では記念式典が粛々と開催されました。片田範子看護学部長、そして清原正義学長による挨拶を受け、20年という歴史を尊びながら、これからまた新たな時代を築き上げる為にも、既に未来を見据えて踏み出していくことの大切さを痛切に感じた式となりました。



式典終了後は会場を冷房のよく利いた講堂へと移し、記念講演会が行われました。トップバッターを飾られましたのは我が兵庫県立看護大学・兵庫県立大学の誇り、南裕子先生です。開学当初からの歴史、思い出をお話いただき、この大学はこんなにも思われ、大切にされ、愛されてここまで成長してきたのかと感動したと同時に、その大学に育ててもらい今この場に居られることに感謝の念を強く持つことが出来ました。ユーモアを交えながら和やかにこやかにお話下さる南先生に引き込まれ、あっという間に時間は過ぎていきました。その後も錚々たる先輩方のお話を聴かせていただくことが出来、非常に刺激的な2時間となりました。



(個人的には「ちよちゃん焼き」の名付け親(?)ちよちゃん先輩ご本人にお会いできたことが衝撃的でした。) 個性的な先輩方のお話を聴きながら、こんなにも一人一人パワーと才能に溢れる、層の厚い卒業生を輩出出来る本校はある意味恐ろしいとまで感じました。これからもオリジナリティ溢れるパワフルな後輩たちが育ってくれること間違いなしだと思いますし、そうなることを願います。

そして講演会終了後はお楽しみ、懐かしのコンクリートの学び舎に戻り、卒業年別クラス会へと突入です。304、306、307各教室いずれも大変な盛り上がりで、現役学部生をも上回るエネルギーが放出されていました。卒業以来初めて再会する旧友や腐れ縁等、お互いに近況報告をしているとどこまでも話は尽きません。まさに歯止めがきかない、収集がつかない状態！同級生が立派な医療者として、人として、奥様・旦那様・ママ・パパとして、奮闘している姿は非常に嬉しく「よし、私もがんばろう!」とパワーをいただきました。会わない時間が長くとも、会えばあっという間に学生時代の“私たち”に戻ることが出来る、これも看護学部の4年間で築き上げた絆の強さが為せる技なのではないかと、後日振り返った際に感じたものでした。



トータル5時間程の20周年お祝い会は光陰のごとく過ぎ去り、皆がとても良い笑顔で帰路につくことが出来たのではないかと思います。無事に20周年記念式典を開催することが出来たこと、関わって下さった皆様方にご場をお借りして御礼申し上げるとともに、また同じ様に節目節目で皆で集まれる日がやってくることを心待ちにしながら、またこれからも日々精進して参りたいと思います。本当にありがとうございました。



けやき会主催セミナー



けやき祭りを終えて

3回生 佐野 有希

今年のけやき祭りは 5月26日に開催されました。同じ日に県立看護大学・県立大学看護学部開学20周年事業もあったので来場者が多く、例年よりもさらに賑わいがあるように感じられました。

けやき祭りの準備は1月頃から始まりました。私はけやき祭りの実行委員長でしたが、今までにこのような大きな役割を担ったことがありませんでした。先輩方から引き継いだことはたくさんありましたが、何から進めていけば良いのか分からないことばかりで準備を進めていくのも最初は手探りの状態でした。今年は模擬店をカフェテリアで開催しましたが、カフェテリアで模擬店をするにあたって様々な問題も出てきました。また、連絡ミスが発生するなど、準備を進めていくと次々と問題が出てきて思うようにいかないこともありました。そんな時に私を支えてくれたのは3回生のメンバーでした。私が困っているときに声をかけてくれたり、フォローをしてくれた3回生のメンバーには本当に感謝しています。前日準備では、2回生、1回生のメンバーが学内の装飾をするなど、率先して動いてくれたのでとても助かりました。

当日は大きな問題も起こることがなく無事にけやき祭りを開催することができました。これは、学生会のメンバーだけでなく、企画の段階からアドバイスなど様々なサポートをしてくださった先生方、学務課の方々、保安室の方々、そして地域の方々の協力があったことだと思います。この場を借りてお礼を申し上げます。けやき祭りを企画、開催することで新たにたくさんの改善点があることに気付くことができました。今年の反省をふまえ、今後さらにけやき祭りを良いものへと発展させていきたいと思っています。そして、参加している学生や来てくださった地域の方々を楽しめるようなイベントにしていきたいと思っています。これからも、お時間が合えばぜひけやき祭りに足を運んでいただけたらと思います。



20周年を迎えて

学生部長 坂下 玲子

★パイオニアとして

兵庫県立看護大学から引き継ぎ兵庫県立大学看護学部は20年が経ち、成人式を迎えました。兵庫県立看護大学は1993年に国公立初の看護単科大学として設立されました。その後、全国に続々と看護系大学が生まれ、現在200校を超えています。また修士課程に専門看護師養成コースを置き、最も多くの専門看護師を輩出しています。世界最大面積の看護系研究所と連携し、災害看護の拠点として文部科学省のCOEプログラムに採択され、昨年より高知大学を責任校とするGlobal Leader 養成プログラムに採択されています。これらは初代学長であられた南裕子先生（日本看護協会会長、世界看護師協会会長を歴任、現 高知県立大学学長）のお力が大きかったと思います。

★最も喜ばしいこと：志を同じくする仲間が増えたこと

20周年を迎え最も喜ばしいこと、それは、志を同じくする卒業生・修了生が増え活躍していることです。平成25年3月で卒業・修了生は、学部生1,846名、修士320名、博士25名になります。「いえ、私なんか」と謙遜する声が聞こえますが、患者さんのベッドサイドにいる貴方、人々の健康のために奔走している貴方、皆りっぱな活躍です。患者さんを大切に、患者さんから始める「CNASマインド」は受け継がれ、臨床という現実の荒波にもまれながらも、むしろ荒波にもまれるからこそ強くなっていることを感じます。

★皆さんの前にある無限の可能性

21世紀はケアの時代です。現在の健康問題の多くは、生活習慣とストレス由来の慢性疾患であり、治療だけでは解決できないものです。人々の内なる力を引き出し、健康を高めていくような生活を支援すること、その専門性をもっているのは、医療と療養生活支援に専門性をもつ看護職です。そのような専門性は病院に留まらず、地域や職場等あらゆるところで求められています。結婚、出産、子育て等ライフイベントとバランスを取りながら、大学に戻って、心と体のエネルギーをチャージしてください。

★★★ CNAS応援隊 大募集！！ お申込みは cnas-ouentai@cnas.u-hyogo.ac.jp ★★★

教育、研究、地域連携など学部のような活動を応援して下さる方を募集しています。

登録内容：①お名前 ②連絡先（アドレス） ③所属 ④卒業年度をお知らせください。

卒業生の今

けやき会の皆様、こんにちは!!

兵庫県立こども病院 坂本 恭子（旧姓：砂川、兵庫県立看護大学9期生）



けやき会の皆様、こんにちは!! 9期生の坂本恭子です。私は、卒後兵庫県立こども病院のNICUに配属され、今年で早9年目になります。

配属当初は、救命救急が最優先される緊迫したフロアで、帰宅後もモニター音が耳から離れない日々でしたが、優しい先輩方など環境に恵まれ、ここまでやってこれました。新生児看護は、産科で入院管理されている母親の産後リアリティショック軽減のための産前訪問、救命救急が最優先される出生後の急性期、週数や成長発達に合わせた細

やかなケアを要する慢性期、退院へむけ個性に応じた在宅指導、退院後に安心して生活していただけるよう他部門や地域との連携、退院後の電話相談や育児内科外来フォローと幅広く、より予測的、個別的なケアが必要とされます。経験を積むごとに点が線となりいろいろなことが見えてきて、新生児看護の楽しさややりがいを感じています。また、私も昨年に母となり、今まで以上にご家族の思いに寄り添った関わりができれば、と思っています。

私生活では、NPO法人が運営する『赤ちゃん先生プロジェクト』で、息子が赤ちゃん先生となって、母校の兵庫県立大学をはじめ、地域の小学校や高齢者施設へうかがい、命の偉大さや尊さをお伝えするなどの取り組みを行っています（詳しくは『赤ちゃん先生プロジェクト』ホームページをご覧ください）。育休中の社会的閉塞感から抜け出すために始めた活動ですが、息子といっしょに活動しながら社会とつながることができ、毎回様々な発見や感動があり、私も息子といっしょに成長させていただいています。

仕事と育児の両立であっという間の毎日ですが、看護師としてはもちろん、母として、人として、少しでも地域貢献できるよう、これからもいろいろなことに取り組んでいきたいと思っています。

ただいま!

山口 恵子（兵庫県立看護大学11期生）



けやき会のみなさま、こんにちは。卒業して6年、私は助産師として県立こども病院と姫路聖マリア病院で臨床経験を積み、この4月から大学院に進学しました。在学時は進学なんて全く考えておらず、仕事も楽しい盛りではあったのですが、臨床経験の中で疑問を感じたり、対象者の特性の変化に対応する難しさなどを感じるようになり、進学を決めました。現在は職場に席を置いたまま出張という制度をとり、月に2回程度の夜勤と長期休暇は通常勤務をしながら大学院で学んでいます。

2回目のキャンパスライフ(?)は、超快適…とまでは言えないですが、コンクリートの壁や至る所の雨漏りでさえ、懐かしさを感じている次第です。また、現場を経験してからの机上学習では、首こり・肩こり・腰痛、さらに、体力低下と体脂肪率増加などの身体症状との戦いでもあります。学部時代とは違った視点から学びを深める楽しさを感じています。

まだ始まったばかりですが、2年後プライベートも含めて悔いの残らないように一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。

● 慢性病看護事例研究会（成人看護学教室） ●

成人看護学教室では、慢性病をもつ患者さんやご家族への看護支援について事例を通して慢性看護を考える事例研究会を年5回開催しています。慢性看護には、生活習慣病の予防、疾患の急性増悪の予防、症状コントロール、リハビリテーション、ターミナルケアなど様々な領域があります。臨床の現場でケアを実践している看護師、慢性疾患看護専門看護師の方々から事例を提供していただき、実践の中で困難に感じてきたことや新たに挑戦したいことなど一緒に話し合い、慢性病看護について考えてみましょう。

今年度の残り日程は下記です。興味のある方はどなたでも大歓迎です。けやき会のみなさまのご参加をお待ちしています。

日 程：平成25年11月14日(木)、平成26年2月13日(木)

時 間：19時から21時

場 所：兵庫県立大学 明石看護キャンパス

参加費：100円

連絡担当：成人看護学 由雄 緩子

FAX：078-925-9444 E-mail：hiroko_yoshio@cnas.u-hyogo.ac.jp



会報発行協力金協賛者一覧

（平成25年9月12日 現在）

■平成25年

特別会員

鵜 山 治
長 田 浩
松 田 子
吉 本 裕 生

平10

鈴木（東）和 代

平12

青木（小東）由 樹 子

平16

谷 口 真 由 美
増 田 直 美

平18

水 野 健 司
宮 城 十 子
竹 村 和 子
渡 邊 佳 世

平21

上 田 美 智 子

平22

荒 井 正 美
上 原 多 佳 子

平23

福 井 麻 希
連 吾 夕 美

平11博前

岩 切 真 砂 子

平13博前

近 藤 明 代

平14博前

小 迫 幸 恵
松 枝 美 智 子

平15博前

奥 野 信 行
長 尾 匡 子

平16博前

長坂（玉石）桂 子
松 尾 和 枝

平17博前

笹 木 忍
白 石 佳 子
仲 村 直 子

平18博前

小 林 仁 美
児玉（瀧上）菜 桜
坂田（辻）明 子
藤 原 由 子

平24博前

中 野 宏 恵

平15博後

寒河江（野澤）美江子

平17博後

呉 小 玉

平21博後

工 藤 美 子

皆様ご協力ありがとうございます。会報の一部に使わせていただきます。

けやき会からのご案内

けやき会 新役員

平成25年度より、武林智子さん、森舞子さんが新役員となりました。役員一同頑張ってまいりますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

会 長	芝 田 健 輔
副会長	東 知 宏、西 原 沙 織
会 計	藤 原 史 博、武 林 智 子
書 記	鎌 田 奈 津、本 田 真 也
庶 務	井 上 知 美、森 舞 子

編集後記

今回もみなさまのご協力のもと、けやき会会報を発行することが出来ました。

看護学部が設立されてから20年という歳月が流れて、多くの卒業生・修了生の看護職が各地で活躍されているとお聞きしています。これからの10年、20年も楽しみです。大学の学舎はコンクリートのため夏は猛暑、冬は極寒なのは相変わらずなため、空調の温度調整や窓の開閉などの環境整備がかかせません。年数がたてばいつかは建て替えとなるかもしれませんが、愛着をもって学舎と対峙しています。

兵庫県立大学看護学部同窓会 けやき会平成24年度決算書・平成25年度予算案

平成25年5月26日

【決算書】収入の部 (H24.4.1 ~ H25.3.31)

費 目	平成24年度決算額	備 考
会 費		
'97 年度 学部卒	¥20,000	2人× ¥10,000
'00 年度 学部卒	¥10,000	1人× ¥10,000
'07 年度 学部卒	¥10,000	1人× ¥10,000
'08 年度 学部卒	¥10,000	1人× ¥10,000
特別会員	¥10,000	1人× ¥10,000
'12 年度 学部入	¥1,090,000	109人× ¥10,000
'12 年度 修士入	¥80,000	8人× ¥10,000
'12 年度 博士入	¥0	0人× ¥10,000
'12 年度 学部卒	¥690,000	69人× ¥10,000
'12 年度 修士卒	¥0	0人× ¥10,000
'12 年度 博士卒	¥0	0人× ¥10,000
雑収入	¥1,426	利子
学生会からの収入		
前年度繰越金	¥9,597,935	
収入合計	¥11,519,361	

【決算書】支出の部（H24.4.1～H25.3.31）

費 目	平成24年度決算額	備 考
I ホームページ		
作成費	¥104,000	
II 樺まつり 総会・講演会		
案内印刷・郵送	¥267,430	
消耗品	¥22,885	講師弁当・茶菓子、消耗品等
講師謝金・謝礼品	¥50,000	
講師交通費	¥20,000	
III 会報		
会報作成・郵送費	¥150,000	
V 事務		
消耗品費	¥436	
通信費	¥2,560	
VI その他		
名簿作成代	¥1,000,000	
森口先生退官花代	¥5,000	
鵜飼先生退官花代	¥5,000	
近澤先生退官花代	¥5,000	
振込費	¥1,050	
二重振込者へ返金	¥10,000	
支出合計	¥1,643,361	

平成 24 年度決算残高	収入総計	¥11,519,361
	支出総計	¥1,643,361
	差引残高総計	¥9,876,000

平成 24 年度決算報告について監査を行い、以上相違ありません。

監査 庄司 覧子 

中野 宏恵 

兵庫県立大学看護学部同窓会
けやき会CNAS基金 平成24年度決算書

平成25年5月26日

【決算書】収入の部 (H24.5.20 ~ H25.3.31)

費 目	平成24年度決算額	備 考
Ⅰ 寄付		
寄付 -1	¥87,260	
寄付 -2	¥5,000	
Ⅱ 利息	6	
Ⅲ 前年度繰越金	¥0	
収入合計	¥92,266	

【決算書】 支出の部 (H24.5.20 ~ H25.3.31)

費 目	平成24年度決算額	備 考
該当なし		
支出合計	¥0	

平成 24 年度決算残高	収入総計	¥92,266
	支出総計	¥0
	差引残高総計	¥92,266

平成 24 年度決算報告について監査を行い、以上相違ありません。

監査 池原弘展 

山科文子 

【予算案】収入の部 (H25.4.1 ~ H26.3.31)

費 目		平成25年度予算案	人 数	会 費
会 費	`96 年度 学部卒業	¥264,000	33	8,000
	`97 年度 学部卒業	¥520,000	52	10,000
	`98 年度 学部卒業	¥650,000	65	10,000
	修士卒業	¥70,000	7	10,000
	`99 年度 学部卒業	¥220,000	22	10,000
	修士卒業	¥100,000	10	10,000
	`00 年度 学部卒業	¥190,000	19	10,000
	修士卒業	¥30,000	3	10,000
	`01 年度 学部卒業	¥280,000	28	10,000
	修士卒業	¥0	0	10,000
	`02 年度 学部卒業	¥130,000	13	10,000
	修士卒業	¥10,000	1	10,000
	`03 年度 学部卒業	¥130,000	13	10,000
	修士卒業	¥20,000	2	10,000
	`04 年度 学部卒業	¥130,000	13	10,000
	修士卒業	¥30,000	3	10,000
	博士卒業	¥10,000	1	10,000
	`05 年度 学部卒業	¥340,000	34	10,000
	修士卒業	¥30,000	3	10,000
	`06 年度 学部卒業	¥200,000	20	10,000
	修士卒業	¥50,000	5	10,000
	`07 年度 学部卒業	¥390,000	39	10,000
	修士卒業	¥70,000	7	10,000
	博士卒業	¥10,000	1	10,000
	`08 年度 学部卒業	¥260,000	26	10,000
	修士卒業	¥20,000	2	10,000
	`09 年度 学部卒業	¥770,000	77	10,000
	修士卒業	¥40,000	4	10,000
	`10 年度 学部入学	¥190,000	19	10,000
	修士入学	¥10,000	1	10,000
	博士入学	¥0	0	10,000
	`10 年度 学部卒業	¥160,000	16	10,000
	修士卒業	¥20,000	2	10,000
	博士卒業	¥10,000	1	10,000
	`11 年度 学部入学	¥40,000	4	10,000
	修士入学	¥0	0	10,000
	博士入学	¥0	0	10,000
	`11 年度 学部卒業	¥340,000	34	10,000
	修士卒業	¥0	0	10,000
	博士卒業	¥10,000	1	10,000
	`12 年度 学部入学	¥40,000	4	10,000
	修士入学	¥10,000	1	10,000
	博士入学	¥0	0	10,000
	`12 年度 学部卒業	¥290,000	29	10,000
	修士卒業	¥0	0	10,000
	博士卒業	¥20,000	2	10,000
	`13 年度 学部入学	¥1,030,000	103	10,000
	修士入学	¥220,000	22	10,000
	博士入学	¥60,000	6	10,000
	`13 年度 学部卒業	¥990,000	99	10,000
	修士卒業	¥0	0	10,000
	博士卒業	¥0	0	10,000
前年度繰越金		¥9,876,000		
収入総計		18,280,000		

【予算案】支出の部（H25.4.1～H26.3.31）

費 目	平成25年度予算案	備考	昨 年
I ホームページ			
年間管理費	¥104,000		¥104,000
II 樺まつり 総会・講演会			
案内印刷・郵送	¥300,000		¥267,430
消耗品費	¥50,000		¥22,885
講師謝金・謝礼品	¥100,000		¥50,000
講師交通費	¥50,000		¥20,000
20周年記念事業補助金	¥300,000		-
III 会報			
会報作成・郵送費	¥150,000		¥150,000
IV 事務			
消耗品費	¥10,000		¥436
通信費	¥10,000		¥2,560
V 予備費	¥100,000		¥26,050
VI けやき会CNAS基金への寄付	¥2,500,000		-
支出総計	¥3,674,000		643,341

収支差額	¥14,606,000		
前年度繰越金	¥9,876,000		